

# TAKE OFF! いんくる通信 No.10

2018.01.01

あなたのはたらきたいをかたちに 社会福祉法人武蔵野 ジョブアシストいんくる

## ◎働く障害者の数が過去最高に

少し古い数字ですが、厚生労働省は、企業で働く障害者の人数が過去最多の49万5795人になったと発表しました。(昨年6月1日時点) 1年前より4.5%増えて、14年連続で過去最多を更新しました。雇用率は同 0.05 ポイント増の1.97%で、こちらも6年連続で過去最高を更新しました。

今年4月には、精神障害者の雇用義務化により、法定雇用率が現在の2.0%から2.2%に引き上げられます。法定雇用率制度とは、従業員のうち一定割合以上の障害者を雇用することを事業主に義務づける制度です。原則として、週30時間以上働く障害者は1人、週20時間以上30時間未満働く障害者は0.5人に換算して算出されますが、今年4月以降は精神障害者に限り、週20時間以上30時間未満の労働でも雇用開始から3年以内か、精神障害者保健福祉手帳を取得して3年以内の人は1人と数えることにし、精神障害者の雇用を促します。(5年間の時限措置)

近年の働く障害者の継続的な増加は、こうした制度に後押しされていることですが、一方で、労働市場における慢性的な人手不足が障害者の労働価値の高さを認識させ、障害者求人増加を後押ししていると考えられる人もいます。

就労移行支援等を利用し、一般就労に移行する障害者が増加している中で、今後、在職障害者の就労に伴う生活上の支援ニーズはより一層多様化かつ増大するものと考えられます。このため、就労に伴う生活面の課題に対応できるよう、事業所・家族との連絡調整等の支援を一定の期間にわたり行うサービスが新たに創設されることになりました。(「就労定着支援」)。就労の継続を図るために企業・自宅等への訪問等により、必要な連絡調整や指導・助言等を行っていきます。世の中の変化に合わせて制度も刻々と変化していきます。

それを迅速に理解し、適切に運用することが障害者の就労の権利を守るために事業者には求められています。(鈴木)



就労アセスメントの様子(電気部品組立)

## ◎在学中就労アセスメントの役割

「就労アセスメント」とは、障害のある方の「働く力」を正確に捉え、最も適した「働く場」へ移行できるようにし、其々の「働く場」で安定して働き続け、力を伸ばしていけるようにするためのものです。具体的には、特別支援学校卒業予定の生徒さんで、卒業後に就労継続B型のサービス利用を希望される方を対象に、概ね2、3日ほどいんくるで様々な活動を体験する中で、現在の働く力と今後どのように力を伸ばしていくとよいかを見させていただき、ご本人・ご家族・今後利用予定の事業所の方にお伝えしていくというものです。いんくるではこの事業を平成25年度から行っており、現在までに13件受託し、今年度もあと数件対応する予定です。

取り組みの内容は、参加される方によって多少異なりますが、物品の重さ計測、ピッキング、小型電気部品の組立などの軽作業や、請求書の正誤チェック、パソコンを使用した数値・文書入力などの事務作業、身だしなみや挨拶・言葉遣いなど、働く上で必要なビジネスマナーの基本など多岐に渡ります。これらに取り組んでいただくことで、その方の興味・関心や得意・不得意など、様々な面が見えてきます。「働く力を見る」というと、どうしても「できる・できない」だけを判断するものと思われてしまいがちですが、この事業で大切なことは、できるかどうかの判断に加え、「どのように伝えたらできるようになるか」を考え、様々な教示方法を模索・試行することです。ある仕事を行うときに、口頭の説明では理解が難しくても、見本を見せることでうまくできることがあります。また、見本を見せるだけだと難しくても、一緒に仕事をして見本を見せながら、作業のコツなどをその場で伝えていくとうまくできることもあります。実施に当たっては、「どうしたらうまくできるようになるか」という視点を持ちながら、担当者も様々な創意工夫を行う必要があり、その内容や方法を考え、実行して、今までできなかったことができるようになるのを見られるのが私たちのやりがいにも繋がっています。

この事業を経験されたご本人・ご家族からは、振り返りの中で「様々な活動を体験できるので、難しいものもあったけれども、毎日来るのが楽しかった」「学校とは違う環境で、仕事に近いことを経験できたのは貴重だった」「今後の就労に向けた取り組みの参考にしていきたい」というお声をいただいています。

これからも、地域の皆さまの「はたらく」を様々な形で応援していきたいと思っております。(後藤)

## ◎就労トレーニングフィールド紹介 市立中央図書館

武蔵野市のほぼ中心に位置する中央図書館は、五日市街道沿い、市民文化会館向かいに立つ図書館です。1階南側の雑誌コーナーは大きな吹き抜けになっており、開放的な空間です。

この中央図書館で午前8時半からいんくるの就労トレーニングがスタートします。9時半の開館に向けて、新しい雑誌への差し替え、バックナンバーの整理など、ご利用者と職員がペアで行っています。1階から3階までカテゴリ別に置かれた様々なタイトルの雑誌がありますので、雑誌をカートに載せて移動し、棚にある雑誌が全てあるかを確認した上で、新しい雑誌と入れ替えていきます。雑誌が正しい棚にあるか、行方不明の雑誌はないかなど、きちんと確認することが求められるので、仕事に必要な「確認する力」を養う練習になります。その後、バックナンバーを整理します。利用客が多い日の翌日は棚の整理に時間がかかりますが、お客様が見て気持ちのよい状態を保つため、毎日雑誌をきれいに並べます。開館前に全てを終えなければならないので、常に時間を見ながら、丁寧かつスピーディーに進める力を養うことができます。他にも、始業が8時半のため、早起きの習慣化にも役立っていますし、中央図書館のスタッフの方がそばにいらっしゃる環境は一般的な職場と同じなので、訓練することで職場環境に慣れることもできます。

もう一つ、雑誌の装備作業があります。(いんくる通信6号でご紹介した武蔵野プレイスの就労トレーニング①をご覧ください)

こうした、中央図書館等の就労トレーニングは、就職を目指すうえで貴重な経験となり、自分について整理することにつながります。就職活動の際は、採用担当者にいんくるの活動で「何をやってきたか」「どんな経験があるか」「何が得意か」「何をしたいか」をわかりやすく書いたり、話したりする必要があります。自分の言葉で自分を伝えることは大変ですが、就労トレーニングで行った挑戦したこと、継続して変化したこと、辛かったことなど経験として得られたことを具体的なエピソードから言えるようになります。



自分を知ることには時間がかかります。いんくるの活動を通して振り返り、整理することで自分を知らずとも思えます。仕事に対する今の気持ちを、働くため、働き続けるために、今どんなことをしたら良いか支援者と相談しながら一歩一歩準備をしていきましょう。(小池)

## ◎就職者の会を開催しました。

いんくるでは年3回程度、就職者同士のつながりを深めると共に、お互いの大変さや頑張りを共有して、明日への活力に繋げる事を目指す「就職者の会」を開催しています。これまで会場はいつもいんくるでしたが、第6回目となる今回は、いんくるから離れ、会場を吉祥寺のシェーキーズに移し、ピザやパスタ、サラダ、デザートなどのbuffetスタイルの料理を楽しみながらの食事会形式で実施してみました。

勤務終わりの夕方、疲れもあったかと思いますが、お店に入ってくる就職者は、一日頑張った張った「気」を少し緩めたような柔らかい表情だったのがとても印象に残りました。食事をしながらの会は話も弾み、皆リラックスされた様子で笑顔が一杯でした。

仕事を長続きさせるには「仕事以外の楽しみの時間をつくる」こともコツのひとつです。この会が卒業生にとって良い息抜き、リフレッシュになっていけば幸いです。(猪狩)



## ◎平成29年度 就職者の状況

今年度は12月31日現在で11名が企業に就職しました。

- Aさん 医療法人沖縄徳洲会 武蔵野徳洲会病院 様
- Bさん 株式会社ベネッセビジネスメイト 様
- Cさん オリックス生命株式会社 様
- Dさん 株式会社 NEW ART 様
- Eさん ジョッグ株式会社 様
- Fさん 特定医療法人愛育会 久米川病院 様
- Gさん アブラック・ハートフル・サービス株式会社 様
- Hさん 公益財団法人武蔵野市生涯学習振興事業団 様
- Iさん 株式会社ユニクロ 様
- Jさん 株式会社ホンダファイナンス様
- Kさん 森久保薬品株式会社 様

※平成25年6月のいんくる開設以来、41名の方が企業に就職されています。

**Take Off!** いんくる通信 No.10 2018.01.01

社会福祉法人武蔵野 ジョブアシストいんくる

〒180-0006 東京都武蔵野市中町1-28-10

電話 0422-50-1701 Fax0422-50-1702

e-mail incl@fuku-musashino.or.jp

URL <http://fuku-musashino.or.jp/syougai/syougai-07.html>